

～目次～

【1】TKK活動

【2】関連団体の活動

【3】行政等の活動

【4】新コーナー「行ってきました、聞いてきました！」

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 —

— < >のカッコは、連続ものを指します—

【1】TKK活動

* *

OTKK発足15周年・NPO法人設立10周年「記念講演会」安心な未来をめざして!! 高次脳機能障害の啓発と支援
 8月27日(日)12:00～17:40 浜離宮朝日ホール・小ホール(中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階)
 参加費(資料代):1人(または、当事者と付添いの方1人の1組)1,000円、お申込み受付中。

*** 小池百合子東京都知事に来賓としてご出席頂き、ご挨拶を賜ることになっています。

*** 当日のスケジュールは、チラシで表示の前半と後半の順番が入れ替わり、以下の順番で開催いたします。

・開会挨拶、加盟団体の活動紹介

・対談 [ご本人たちに何う～脳損傷からの回復]

講 座:[高次脳機能障害のこれから] 講師:渡邊 修(わたなべ しゅう)氏

対談1:長谷川 幹(はせがわ みき)氏(三軒茶屋リハビリテーションクリニック/院長)／ご本人(原因が脳卒中)

対談2:渡邊 修氏／ご本人(原因が頭部外傷)とそのご家族

・記念講演 [突然 妻が倒れたら]～家族の視点から語る介護生活と社会の支え方～

座長:渡邊 修氏(東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科/診療部長/教授)

講師:松本 方哉(まつもと まさや)氏(フジテレビの解説委員・キャスター、国際ジャーナリスト)

～フジテレビ報道番組「ニュース JAPAN」で、滝川クリステル氏と共にキャスターとして活躍していた当時、奥様がクモ膜下出血で倒られました。重い高次脳機能障害を負われた奥様の介護やリハビリ・ご自身の仕事・ご子息の養育を通じて体験された医療・福祉・介護制度などの問題点を「家族の立場から」鋭く語っていただきます。

・閉会挨拶

◇ 詳細、お申し込みはこちらから、

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=179

○<高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会>

2017年度は5,11月の2回開催。2回分一括先行申し込みは終了。受講をご希望の方は <tkkapproach@gmail.com> に
 お申込みください。詳細、お申し込みはこちらから

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=175

==== 5月14日の報告・・今年で5年目となる実践的アプローチ講習会。参加者は、北海道から鹿児島まで全国から。述べ人数は3,500人を超えました。

(1) 午前の部、山口加代子先生 いつも支援の難しさが問題になる社会的行動障害について。神経心理学的観点から、事例ごとに当事者のみならず家族にも視点を置かれ、丁寧なアプローチ方法のご講演。

(2) 午後の部は、北岡賢剛先生のご講演[滋賀県の高次脳機能障害支援の現状から今後の支援を考える] 厚労省社会保障審議会や内閣府障害施策委員会などで委員をされておられ、高次脳機能障害への支援拡充の必要性を発信されています。同じ精神保健福祉手帳対象でありながら、発達障害者支援法によりこの障害の支援が充実したことと同様、高次脳機能障害支援の法制化の必要性を訴えられました。

(3) 鈴木亜都佐先生は[高次脳機能障害のある方へのソーシャルワークの実際]。高次脳機能障害者への社会的問題解決を援助するための社会福祉の実践的活動についてのご講演。実践事例は、丁寧に説明された制度利用と具体的で金額まで入った経済的権利回復についての事例の解説。

(4) 最後の4番目は、今年から取り入れた事例検討会。講師及びコーディネーターは、渡邊 修先生。まずは、失職を繰り返し、方向性の見えない30代男性の詳細事例の解説から入り、会場のみんなでグループに分かれて、熱のこもった検討会に発展した。第2回目の実践的アプローチ講習会は、11月26日(日)。

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~brain-link/tkk.html#>

====TKK 理事長 細見みゑ

○＜医療及び家族相談会＞

ご相談は各回とも先着順で1回に3組まで、1組につき1時間を目途として順次、ご相談に応じます。今年度3回目は9月24日。詳細、お申し込みはこちらから

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardCode=FB20_1198201667&boardAct=view&crtPage=1&readNum=177&replyNo=141

●2017(平成29)年度 TKK 第1回理事会・総会 6月18日(日) 理事会、総会。国領アクロス

昨年度の活動報告・決算および今年度の活動方針、予算が承認された。

加盟団体について、今年度の加盟団体数の増減はなく、30団体であることが報告された。

【2】関連団体の活動

* *

●熱海市で合宿と「語ろう会」 6月28、29日 熱海のホテル 主催:サークルエコー

====サークルエコーは、1998年に活動をはじめたときから、毎年、合宿を行っています。首都圏以外の会員も多いため、合宿地の選定には苦労します。10年余、神奈川県逗子市や山梨県の河口湖畔の宿泊施設で開催してきましたが、この5年ほどは、横浜、千葉、静岡など、年毎に異なる地域での開催となっています。

今年、6月28、29日、静岡県の熱海市のホテルに20名が参集しました。総会のあと、それぞれの暮らし、喜びや悩みを語る「語ろう会」。10周年以来、続けているエコー合宿恒例行事です。夜は、熱海駅近くの居酒屋「笑笑」で懇親会。宿にもどったあとも、夜遅くまで語り合いが続きました。翌日は、海沿いの公園の「貫一お宮の像」、紫の花が満開のジャカラダの並木を堪能後、ロープウェイや車で熱海城公園へ上りひとときを過ごし、車や新幹線で、それぞれ帰途につきました。この報告等、7月29日発行の会報にてお届けいたします。====サークルエコー代表 田辺 和子

●枝豆とトウモロコシの収穫 7月8日(土) 主催:つつじの会

===今年で2回目になりますが、江戸川区一之江駅前の畑で地主の方の行為により枝豆とトウモロコシの収穫をしました。次は、莖から豆を取る作業です。木陰にシートを敷き作業の始まりです大人も子供も無我夢中、あっという間の楽しい時間でした。その後、非常食のフリーズドライされたマカロニ、ビーンズ入りのカレーを試食しました。うん、非常食と思えないくらいおいしいと満足です。枝豆とトウモロコシを持ち解散しました。== つつじの会代表 後関春美

● **高次しょうぶミニデイ 間違い探し テーブル卓球** 7月15日(土) 主催:かつしか

====テーブル卓球とは、普通の卓球台で、椅子に座してします。お尻が浮いたら反則。今まではティッシュボックスに座して行っていましたが今回は、体育指導委員のボラさんがくさび形の木を(5×30位)作ってきてくれました。ボールは、オレンジ色で、おもり、鈴いり。木でスライドさせネットの下をくぐらせます。当事者+家族+ボランティアで。第一回目は、縦2人、両横2人ずつ、6対6で行いました。最後は当事者だけで3対3で時間の限り続けます。体育指導委員のプロがいますから、途中、ルール変更もありますがいつでもスムーズに笑い歓声の中、面白かったで終わります。====かつしか代表 山崎サカエ

● **日頃のお困りごとなど私たち世話人に話してみませんか?** 7月23日(日) 14:00~16:00

あんさんぶる荻窪 5階第2会議室(杉並区荻窪5-15-13) 主催:高次脳機能障害者と家族の会

====この日は、立川の方の高齢者入所施設の管理者がみえました。高次脳機能障害のお父さんとの関係でご家族の方がお困りとか。事前のご連絡がなかったので、ちょっとびっくりしたのですが、事情をお聞きし、お話をしました。こんな相談も堅苦しくなくていいと思いました。

==== 高次脳機能障害者と家族の会代表 今井 雅子

○ **高次脳機能障害の基礎と応用 医療から地域へ** 8月5日(土)・6日(日)10:00~ 首都大学東京 荒川キャンパス

主催:東京都総合高次脳機能障害研究会(理事長:東京慈恵会医科大学 渡邊 修)

対象:医療・行政・福祉専門職・患者、ご家族

8月5日(土) 基礎編

座長:三沢幸史先生(東京都作業療法士会、多摩丘陵病院)

高次脳機能障害のある方への運転再開支援:渡邊修先生(東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座)

高次脳機能障害者の力を引き出すリハビリテーション・カウンセリング:大嶋伸雄先生(首都大学東京健康福祉学部 作業療法学科人間健康科学研究科)

座長:山口勝也先生(日本訪問リハビリテーション協会、梶原診療所)

学童期の高次脳機能障害への対応:坂爪一幸先生(早稲田大学教育・総合科学学術院)

高次脳機能障害のある方へのハローワークの現状:野坂きみ子先生(ハローワーク立川 専門援助部門精神障害者雇用トータルサポーター)

座長:豊田 輝先生(東京都理学療法士協会、帝京科学大学)

その人らしい暮らしを支えるチームアプローチ:斉藤健一先生(八王子市高齢者あんしん相談センター高尾)

垂直性 verticality の評価と治療アプローチ:網本和先生(首都大学東京健康福祉学部 理学療法学科人間健康科学研究科)

総括:細見みゆ様(東京高次脳機能障害協議会、理事長)

8月6日(日) 応用編

座長：宇田菜穂先生（東京都理学療法士協会、原宿リハビリテーション病院）

社会的行動障害への対応：西脇恵子先生（東京都言語聴覚士会、日本歯科大学附属病院）

訪問看護の経験を通して地域のリハビリに望むこと：加藤公恵先生（永生会在宅総合ケアセンター）

司会 渡邊 修先生、西脇恵子先生

【グループでの事例検討・話し合い・発表】

事例紹介（各20分）（松岡先生、大熊先生）：ケース1・・・易怒性等の社会性に問題のある症例、ケース2・・・復職支援を要する症例

総評：安保雅博先生（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）

○ **第5回失語症カフェ** 8月20日(日) 13:00～15:30 主催：言語生活サポートセンター 定員：30名

◇申し込み：日本失語症協議会：03-5335-9756 office@japc.info

言語生活サポートセンターからのお知らせ

（株）言語生活が「2017年4月から基準該当施設」となりました。

基準該当施設とは、障害者自立支援法に基づく指定**障害福祉サービス**の事業です。

つまり、障害者手帳をお持ちの方も言語訓練に通所できる施設です。

○ **ボウリング&ランチ会！** 8月20日(日) 10:45～14:00 笹塚ボウル 3階ボウリング場（渋谷区笹塚1-57-10）

主催：高次脳機能障害者と家族の会

参加費：2000円（会食の実は1000円） 締切り：8月15日

◇申し込み：03-3200-8970（太田） koujinou.kazokukai@yahoo.co.jp、

当日連絡先：090-8036-8606（太田） 090-9204-2521（松枝）

詳しくは、次をクリックしてご覧ください。 <http://kouji-kazokukai.org/exchange/20170801/591.html>

○ **医療支援者向け埼玉県講習会** 9月30日(土) 13:30～17:00

国立障害者リハビリテーションセンター4階会議室 主催：交通事故被害者家族ネットワーク

【相談員等の方々向けの特別講演会のご案内】

1、「交通事故による脳外傷患者の具体的な救済援助と法律上の手続き」

古田兼裕氏（交通事故弁護士全国ネットワーク 代表弁護士）

2、「高次脳機能障害が生じた“人”を理解する」

山口加代子氏（横浜市総合リハビリテーションセンター 臨床心理士）

3、「国立障害者リハビリテーションの紹介及び高次脳機能障害者への支援」

鈴木理子氏（総合相談課 生活支援専門職）

○ **つつじの会講演会** 9月10日(日) 13:30～ タワーホール船堀303 講師：横張琴子先生

○ **いちごえ会当事者主導交流会** 9月23日 14:00～17:00 小金井市萌え木ホール（小金井市前原3-33-25）

内容 自己紹介と近況報告

- - - - 少人数のグループに分かれて懇談。コーヒーマスターによるおいしいコーヒーを頂きながらカフェします。

- - - - いちごえ会代表 増村幸子

◇申し込み

次をクリックし、フォームに従いお申し込み下さい。<http://ichigoe.org/archives/1851>

または、右記アドレスにお申し込み下さい。innfo@ihigoe.org

【3】行政等の活動

* * *

-
- (東京都)障害者への理解促進及び差別解消のための条例制定に係るヒアリング 4月28日 東京都社会福祉保健医療研修センター、参加団体はTKK他9団体

====TKKから細見理事長、蔵方副理事長が出席し一番目に意見具申しました。意見はヒアリング項目として設定されている、基本理念/都民および事業者の責務、事業者による取り組みの推進、情報保障の推進、相談・紛争解決の仕組み、それ以外の論点、の各々の項目に沿って、高次脳機能障害への支援、環境整備等を訴えました。

==== TKK理事長 細見 みゑ

- 平成29年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編【 障害者福祉サービスの現状を学ぶ 】
7月5日(水) (公財)東京都福祉保健財団 19階

====福祉サービス利用者に聞く「高次脳機能障害」と題して、高次脳機能障害の障害特性について理解していただくために、1時間、「高次脳機能障害の現状、事例、TKK の活動から見えてくること、最後にどうしてもお伝えしたいこと等々」を講演してまいりました。各種福祉サービスを評価する専門職に学んで頂くこの研修会を引き受けて6年目になります。最初の頃は、研修生に、高次脳機能障害という言葉を知っていらっしゃる方は手を上げてくださいと尋ねたら、100人中5~6人しかいませんでした。今年は8割以上の方が挙手なさっておられたので、啓発と理解促進が進んできている、、、と隔世の感がありました。講演後は、活発な質問が多くあり、高次脳機能障害への関心の高さが伺え、嬉しく思いました。

==== TKK 理事長 細見 みゑ

- 平成29年度高次脳機能障害支援普及事業 第1回北多摩南部医療圏 高次脳機能障害地域支援研修会
7月23日(日) 13:30~16:30 調布市総合福祉センター主催:東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科

・講演「今、知ってほしい カスタマイズ就業」北原国際病院 峰尾 舞先生

・高次脳機能障害支援 事業所・施設報告

①東京高次脳機能障害者支援ホーム(通称:HiBDy.Tokyo) 相良宏司様

②多摩市社会福祉協議会「地域活動支援センターあんど」伊藤恭子様

③就労移行支援事業所「レジリエンス」蟹江こうじ様

・事例検討 「失職を繰り返し方向性が見えない30歳代男性」東京慈恵会医科大学附属第三病院 渡邊 修先生

====専門的リハビリテーションの充実事業としての高次脳機能障害支援普及事業を、多摩南部医療圏として慈恵医科大学第三病院が受託し実施している高次脳機能障害地域支援研修会である。今年の第1回目は、会場を変え、調布市総合福祉センターで行った。参加者で満員の熱気あるものになったことは、会場が駅近になった所為だけではなく、研究会の講演種目が、それぞれまさに実践している濃い内容であったからだと思う。様々な支援の実践について学ぶことがで

きた。最後に行った事例検討会は、困難事例の最たるケースについての検討会であったが、異職種の方々とグループを組み、この当事者にとって最もふさわしいと思われる支援方法について、真剣に意見交換ができ、他のグループ達の様々な意見も聞けたことは大きな収穫になった。しかし、成育、家族、教育、医療、評価方法、資源、ケースワークのどれ一つ間違っても厳しい結果になってしまうのではないかとと思われる事例であった。==TKK 理事長 細見 みゑ

● 第 21 回 高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会 7 月 26 日(水) 東京都心身障害者福祉センター12 階

====TKK からは、委員として理事長の細見みゑ、傍聴として副理事長 2 名が出席。学識経験者、医療・医療関係団体・精神保健関係・教育関係・就労支援、福祉関係機関、区市町村、当事者団体 TKK、事務局(東京都と都心障センター)で開始。・平成 29 年度の高次脳機能障害支援普及事業として5本の主要事業計画についての報告。(相談支援、支援ネットワーク構築、人材育成および広報普及啓発、就労支援、社会生活評価)・28 年度相談実績報告では、相談件数が少々減少したが、各地域での相談窓口増大と認知度向上のため。・今年度から、三鷹市と日野市が加わり、合計 40 の区市町村が高次脳機能障害支援促進事業を実施することになった。30 年度手を挙げる予定の自治体は3箇所あるが、この支援促進事業に加わらない空白の区市町村が 10 地域もあることになり、依然として、地域格差の是正が懸念される。・24 年度より本格実施となった専門的リハビリテーション充実事業は、12 全部の支援拠点病院にて実施。・本年度は、従来相談支援員等対象に実施しているに研修会とは別枠で、教育関係者等を対象に、高次脳機能障害・発達障害のある子供の理解をテーマに 8/23 に研修会が開催される予定。==== TKK 理事長 細見 みゑ

○ かつしか講演会「高次脳機能障害、特に社会的行動障害への対応」9 月 2 日(土)15:30～ ウェルピアかつしか1階、
主催：葛飾区地域活動支援センター 講師：渡邊修先生
◇申し込み TEL 5698-1336 FAX 5698-1337

-----∞
【4】行ってきました、聞いてきました！

* *

メルマガ編集担当者が加盟団体、関係団体の活動を見学したり、高次脳機能障害関連の催しものに参加した際、その内容、印象をご報告します。今号では 5 月 14 日開催したTKK主催アプローチ講習会の次の講演について、その要旨を報告します。

<報告者:TKK 理事 矢野 久喜>

-----∞
■ 北岡 賢剛氏

社会福祉法人グロー理事長

講演:「滋賀県の高次脳機能障害支援の
現状から今後の支援を考える」

学歴)	筑波大学大学院修士課程障害児教育研究科修了
現職)	社会福祉法人グロー(GLOW)理事長
	NPO 法人 全国地域生活支援ネットワーク顧問 他
	委員等) 厚生労働省社会保障審議会障害者部会委員
	(2004 年~2006 年,2007 年~2009 年,2015 年~2017 年)
	内閣府障害者政策委員 (2016 年~) 他

社会福祉法人グローは滋賀県で高齢者・障害者向けサービスその他の公益事業を30数か所で展開しています。その一つに滋賀県高次脳機能障害者支援センターがあります。その職員から聞くエピソードから、支援が届き上手く社会復帰している例も増えてくる一方、社会的行動支援が強く表れている等により、家族や支援者が受け止めにくなっている方がいることを知りました。深刻なケースであればあるほど福祉サービスが届いていないことを実感し、本格的にこの障害への支援に取り組む必要性を痛感しました。そこで 2015 年 9 月、11 月、2017 年 1 月と、社会保障審議会障害者部会で高次脳機能障害者への支援拡充の必要性を発信しました。

高次脳機能障害者の支援について 10 数年前から国レベルで各種施策がとられてきましたが、法整備の観点からは全く不十分です。発達障害者については平成 17 年 4 月に「発達障害者支援法」が施行され、平成 28 年 5 月には「発達障害者支

援法改正法」が成立したことにより支援が大幅に拡充されました。

高次脳機能障害者支援を確かなものとするために、高次脳機能障害支援の法制化の必要性を強く感じています。

■北岡理事長 講演録

平成 28 年 10 月 8 日(土)、高知県高知市のかるぽーとにて、日本脳外傷友の会 第16回全国大会 2016in 高知が開催されました。この中での北岡理事長の講演が、社会福祉法人グローHPに「日本脳外傷友の会 全国大会理事長講演レポート」と題して掲載されていますのでご紹介します。

<http://bit.ly/2hqqrkl>

以上